

中国支部長就任のごあいさつ



この度、中村憲二前支部長の後任として、平成 28 年 7 月 15 日付けで（公社）日本測量協会中国支部の支部長を拝命いたしました菅雄三です。当支部の発展のために微力ではありますが尽力いたしたく存じますので、よろしくお願い申し上げます。

近年、激甚化する災害に対する防災・減災対策ならびにインフラ整備等に対応できる社会基盤技術としての「測量技術」の果たす役割がますます重要となっています。そうした中で測量業界を取り巻く状況として、測量士・補国家資格制度に基づく「測量技術（Surveying）」は宇宙測量（人工衛星リモートセンシング、GNSS）、空中測量（航空レーザー、空中写真、UAV）、地上測量（TS、CAD、地上レーザー、MMS）そして地理情報システム（GIS）等を網羅する総合的なデジタル測量技術としての「時空間情報技術（Time-spatial Geoinformatics）」へと急速な技術革新が展開されています。

一方、国土交通省では「i-Construction」を中心とした建設現場の生産性向上のための新たな取り組みが開始されています。このような社会的状況を鑑み、測量業界においても迅速、着実かつ高度化された技術・業務対応が必要となっています。当支部におきましては、協会本部事業との連携により機関誌「測量」の発刊をはじめ、各種の講習会や講演会などを精力的に実施しており、会員の増強ならびに会員皆様の継続的技術力の高度化に寄与することがますます期待されているところであります。

また、少子高齢化による若手技術者の育成も喫緊の課題として顕著になってきています。当協会におきましてこれまで以上に、国・地方自治体はじめ大学・教育研究機関や測量業協会等との連携による普及啓発・広報活動をとおして測量業界における次世代の人材育成に取り組んでいるところであります。

中国支部会員皆様のご協力、ご支援のもとで諸課題に取り組むべく、支部活動を推進する所存であります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

（公社）日本測量協会中国支部長 菅 雄三

（広島工業大学環境学部地球環境学科教授）